

# enel x

## エネルギーエックス・ジャパン 会社案内



### Company profile

会社名	エネルギーエックス・ジャパン株式会社
代表取締役	宮本博光
本社	東京都中央区日本橋室町2-3-1 室町古河三井ビルディング9階
西日本支社	大阪府大阪市中央区南久宝寺町4-1-2 御堂筋ダイビル 301号室
西日本支社 九州事務所	福岡県福岡市中央区天神1-14-18 天神ブリッククロス南棟4階
電話番号	03-6262-7272 (代表)
創立	2013年12月20日
事業内容	電力需給調整事業、デマンドレスポンス (DR)、 バーチャルパワープラント (VPP) ビジネス
URL	<a href="http://enelx.com/jp">enelx.com/jp</a>
株主	Enel X S.r.l



# エネルエックス

エネルエックスは、エネルグループのグローバルな先進エネルギーサービス事業部門です。エネルギー転換を支援する革新的ソリューションの開発におけるグローバルリーダーとして、エネルエックスは消費者、企業、都市に対し、持続可能性とネットゼロ目標の達成に焦点を当てた統合的なサービスを提供しています。

エネルエックスは、ビジネスに新たな価値を生み出す原動力として、電化とデジタル化の推進に注力しています。私たちは、インテリジェントなエネルギーサービス、小売商品の統合、グリーンエネルギーオプションを通じて新しい価値を創造します。

電力消費をスマートに調整する能力  
「フレキシビリティ」を  
企業の皆様が最大限に活用できるよう  
新たなソリューションを提案します

## エネルエックスの4つの柱

### プラットフォーム化

1

当社は世界最大の独立系VPP(仮想発電所)プラットフォームを運営しています。保有する24時間365日のネットワークオペレーションセンターは、世界中のお客様にサービスを提供しています。

### デジタル化

2

当社の製品やサービスにはデジタル技術が組み込まれており、それにより付加価値を生み出し、お客様が分析データに簡単にアクセスできることを可能にしています。

### 統合化

3

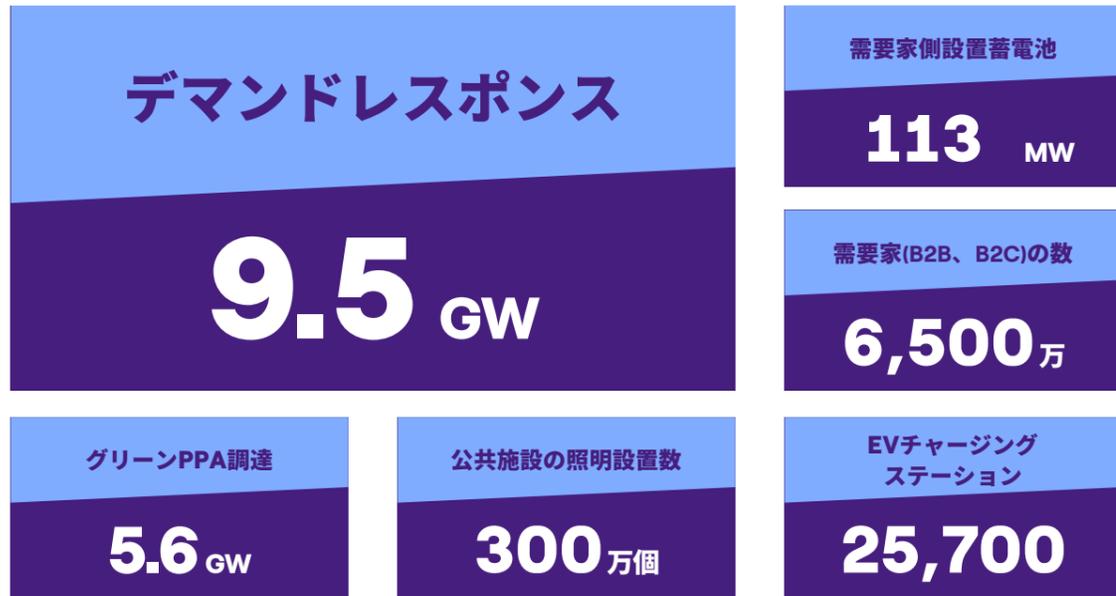
インテリジェントなエネルギーサービス(デマンドレスポンス)と蓄電池、太陽光発電、EVなどの脱炭素化オプションを組み合わせた包括的なエネルギーソリューションをご提案します。

### エコシステム

4

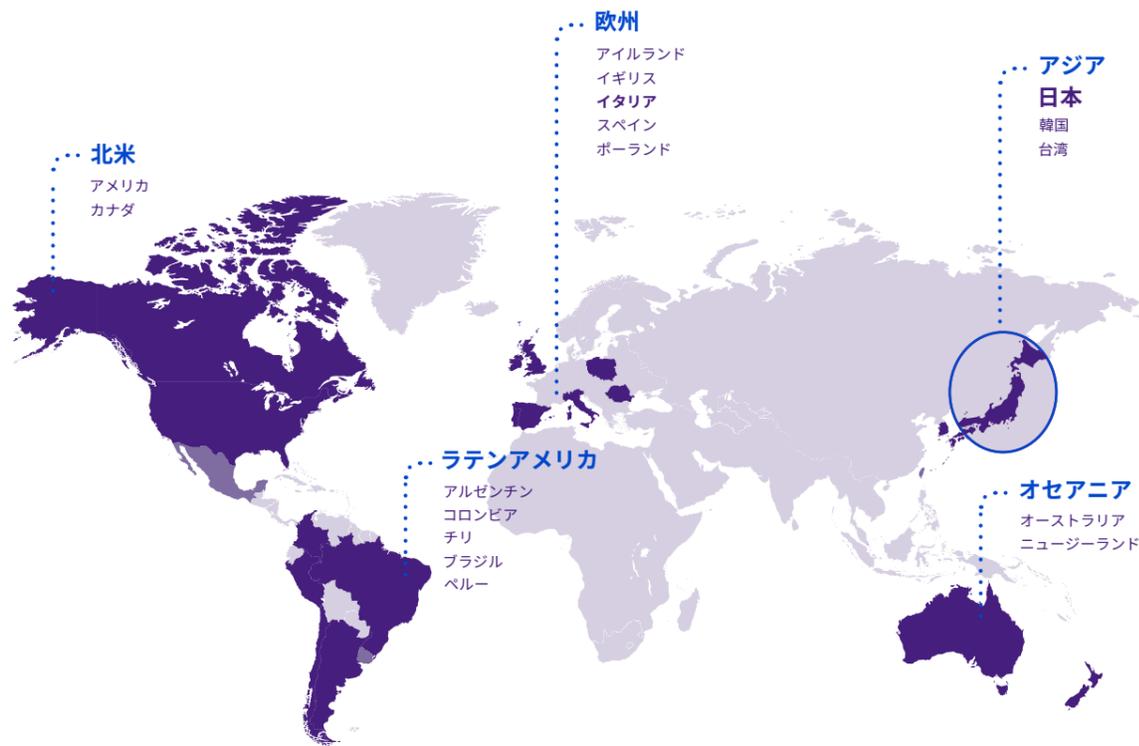
当社のエコシステム(製品、プラットフォーム、統合)により、信頼性の高い包括的なサービスを提供いたします。

# エネルエックス



\*2023年11月現在

## グローバルネットワーク



18拠点で事業展開

- 2001 ○ EnerNOC社として米国ボストンにて創業
- 2007 ○ IPO NASDAQ上場
- 2012 ○ 日本市場進出
- 2012 ○ 関西電力株式会社向けにBEMSアグリゲータープログラム参加
- 2013 ○ エナノック・ジャパン、丸紅との合併会社を設立
- 2013-2015 ○ 経済産業省DR実証事業への参加
- 2014-2015 ○ 経済産業省ネガワット検討会への参加(委員)
- 2015 ○ デマンドレスポンス推進協議会設立・初年度理事長
- 2016 ○ デマンドレスポンス推進協議会理事
- 2016 ○ 経済産業省バーチャルパワープラント構築実証事業採択
- 2016 ○ 経済産業省ERAB検討会への参加(委員)
- 2017 ○ 伊 エネルグループに統合
- 2017 ○ 2017年度九州電力株式会社『電源I'厳気象対応調整力』の運用開始
- 2017 ○ デマンドレスポンス推進協議会理事長
- 2018 ○ 『電源I'厳気象対応調整力』アグリゲーターとして正式に採択
- 2019 ○ エネルエックス・ジャパンとして活動開始
- 2020 ○ 容量市場メインオークション、発動指令電源1GW超の落札
- 2023 ○ エネルギーリソースアグリゲーション事業協会(ERA)設立・初代理事

# デマンドレスポンス

電力需要のピーク時に、  
電力の供給、社会、環境に貢献し  
収益を得ることができる画期的なプログラムが  
デマンドレスポンスです



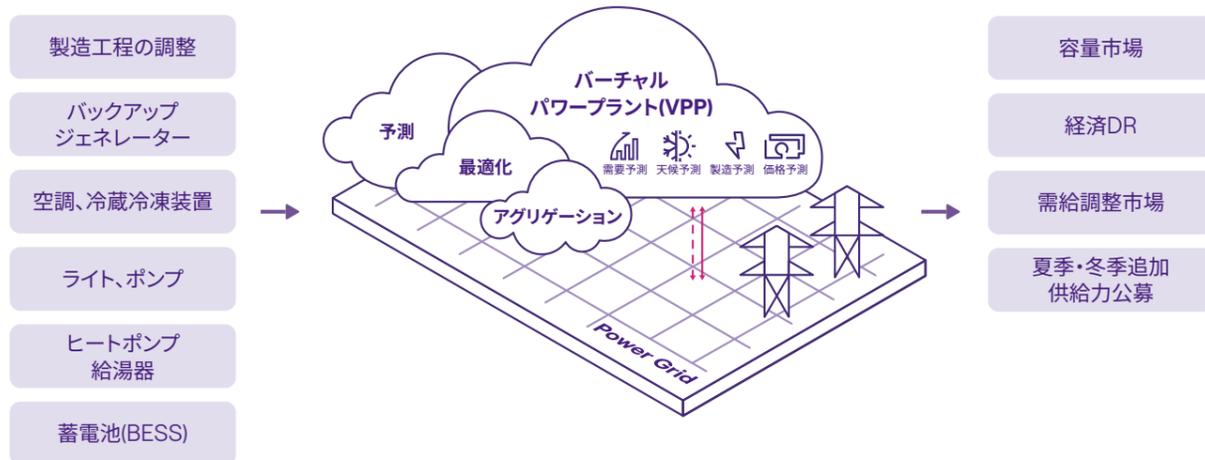
## 電力消費をスマートに調整することにより新たな収益を確保

電力供給が不足する時間帯において、電力消費を調整することで、企業の皆様は電力系統における安定供給の維持に貢献することができます。これをデマンドレスポンス(DR)といい、安定供給に寄与する対価として新たな収益を確保することができます。当社は、2012年から国内でDR事業を展開してきた経験豊富なアグリゲーターです。2027年度向けの容量市場(発動指令電源容量)においては、高いマーケットシェアを誇っています。世界的に見ても、独立系の事業者としては最大手です。

VPPとDRは、エネルギー資源を管理する最も効率的な方法です。経営に影響を与えることなく、資源提供の対価として支払いを受けることができます。

### 需要側フレキシビリティ

### DRのプログラム



**9.5 GW** グローバルでのデマンドレスポンス取り扱い容量

**14,000** か所の設備を接続

- #1**

日本で最大の独立系  
アグリゲーター
- 10**

年にわたる  
日本での経験
- 9**

全管区で対応  
(沖縄は除く)

- 日本で最大の独立系アグリゲーター
- グローバルでの22年以上にわたる豊富な経験
- グローバルの(支店・関連会社を含む)対応も可能
- 当社のネットワーク・オペレーション・センターは24時間365日稼働
- 全世界のデマンドレスポンスプログラムをリアルタイムで実行、管理、モニタリング
- お客様自身のベースライン、実績、ターゲットをリアルタイムでモニタリング・確認できる独自の使いやすいソフトウェア

# デマンドレスポンスの事例



場所  
台湾



業種  
エネルギー



お客様情報  
Gogoro社

- Gogoro社は、電動スクーターのバッテリー交換ステーションをエネルエックスのVPPに接続しています
- 1,000か所以上にある2,500以上のバッテリー交換ステーションが**エネルエックスのVPPに接続**されています
- このプロジェクトは、電力供給を安定させるために必要に応じて充電ステーションの電力使用を自動的に削減することにより、台湾のエネルギー業界の電化を支援しています



場所  
アルバータ州、  
カナダ



業種  
データセンター



お客様情報  
N/A

- 当該データセンターは24時間365日有人稼働し、停電などの緊急時にはジェネレーターを稼働させて対応しています
- エネルエックスのデマンドレスポンスプログラムは、同じようにジェネレータを稼働させて活用することにより参加ができるため、データセンターの**日常業務に支障をきたすことはありません**



# 分散型電源

諸外国での実績から得られた知見、テクノロジー、専門性、そして強固な資本基盤により、包括的ターンキーソリューションを提供します

## 蓄電池システム



113 MW

脱炭素化、節電、そして収益向上が可能になるソリューションです

## 太陽光+蓄電池ソリューション



269 MW

太陽光発電を蓄電池と組み合わせることで環境や経済的価値を最大限発揮する方法を提案いたします

## 事例



場所  
カナダ



業種  
石油、ガス



お客様情報  
Imperial Oil社

- エクソンモービル社の子会社である**Imperial Oil社**は、統合型エネルギー企業で、原油や天然ガスの探査・生産から輸送・精製、そしてこれらの製品のマーケティングまで、石油業界の全ての価値チェーンをカバーしています
- すでに**エネルエックスとデマンドレスポンスプログラム**に参加しているImperial Oil社は、140年の歴史を持つ同社にさらなる最先端エネルギー技術を導入することにしました
- システムの規模は**20MW/40MWh**で、公開されている**北米の需要家側設置蓄電池(BTS BESS)としては最大**です
- 蓄電池を導入することで、電気の価格が安い時間帯に電力を蓄え、価格が高い時にその電力を使用することができるようになり、**電気料金の節約**になりました



## Benefits at a glance

### サステナビリティ

再生可能エネルギーを活用してサステナビリティの目標を達成し、二酸化炭素排出量を削減するのに役立ちます

### 新たな収益源

太陽光発電システムや蓄電池を保有することで、デマンドレスポンスプログラムからの収益を大幅に増やすことができますようになります

### 電気料金の削減

蓄電池を活用することで電力使用状況を最適化し、電力会社に支払う料金を削減することが可能になります

### リスクヘッジ

再生可能エネルギー戦略を後押しし、エネルギー市場の影響をさらにヘッジする新たな方法となります

# エネルギーグループ



## 世界をリードする総合エネルギー企業

エネルギーグループは、世界の電力・再生可能エネルギー市場をリードするグローバル総合エネルギー企業です。イタリアの産業国有化政策により国営企業として始まったエネルは、民営化後の現在もイタリア政府が一部の株式を保有しております。ローマに本社を置く多国籍企業で、世界中の多くの顧客に電気とガスを供給し、2001年に世界初のスマートメーターを設置しました。

サステナビリティとイノベーションに注力しており、新しい技術を採用し、顧客と地域社会のニーズに対応するソリューションを創出しています。これらの取り組みは、エネルが社会的責任を果たし、持続可能な成長を推進する一方で、「Open Power」によりエネルギーをより多くの人々に提供し、新しい方法でエネルギーを管理することを促進し、新しい用途にエネルギーを開放する、というエネルのビジョンを具現化するためのものです。

